

大臣認定 F☆☆☆☆

**環境対応接着剤**

**ダイアボンド  
シルバーコーキングV**

シルバーコーキングVは、ニトリルゴムを主成分とする環境対応常温硬化形ダクト用シーリング材です。

§ 特長

1. 一液性で常温硬化のため、作業が容易です。
2. 耐油性に優れ、塩ビ鋼板やダクトなど耐油性の必要な箇所に適します。
3. 耐水性、気密性、水密性に優れます。

§ 用途

1. ラッキングカバー、エルボー、ダクト板金の施工
2. 建築用として、各種金属板の接着兼防水シール、特にカラートタンの屋根、天井板、雨樋、ダクトの施工に便利です。また、耐油性に優れているため、塩ビトタン、塩ビパイプ、谷コイル等にも接着します。
3. その他、可塑剤や油を含むプラスチックやゴムをはじめ、金属、石材、木材などの接着および接合部の間隙充填

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	ニトリルゴム
外 観	アルミ色
不 揮 発 分 (%)	56 ± 3
粘 度 (mPa·s) at20℃	30 万 ~ 50 万
保 証 期 間 (月) at25℃	8
引 火 点 (℃)	-17
発 火 点 (℃)	250

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し，汚れのないよう清浄にします。
  2. 塗布 チューブ，ヘラなどで，所定の位置に充填します。
- \* 一般接着の場合、被着材の両方に塗布し、5～10 分間乾燥してから貼り合わせます。

§ 一般性能

試験項目		試験結果
スランプ JIS A-5757	巾 15mm・深さ 10mm・長さ 100mm のアルミチャンネルに充填し、垂直にしてチャンネルの下端から垂れ下がった距離。	5mm 以下
ブリージング JIS A-5757	ガラス板の上にもろ紙を 5 枚重ね、その中央に高さ 12mm・内径 65mm の金属リングを置き試料を上縁まで充填。14 日後ろ紙へのしみ出し、しみ込み枚数を数える。	1 枚
タックフリー	ガラス板の上に内径 50mm×120mm・厚さ 6mm の型枠を置き、その中に試料を充填し、平らにならす。指先で 3 カ所に軽く触れ付着しなくなるまでの時間。	20 分
耐熱老化性	試料をアルミ箔の上に 3mm 厚さに塗布し室温に 7 日間静置後 70°C・14 日間放置してから 10mm φ の棒に巻き付けワレ等を観察。	ワレなし
耐水性	アルミ板に 3mm 厚に塗布、室温に 7 日間放置後水中に 7 日間浸漬し、取り出して状態を観察。	異常なし
耐酸性 耐アルカリ性	5%HCl・5%NaOH 中に 3 時間浸漬。	異常なし

§ 各種被着材への接着性

被着体		接着性	被着体		接着性
金属	ガルバリウム鋼板	○	プラスチック	軟質塩ビ	○
	亜鉛鋼板	○		硬質塩ビ	○
	カラー鋼板	○		ABS	○
	塩ビ鋼板	○		アクリル	△
	ステンレス	×		石材	磁器タイル（裏）
ゴム	CR ゴム	△	スレート		○
	NBR ゴム	△	モルタル		○
	ブチルゴム	×	ガラス	△	

○：良                  △：可                  ×：否

§ 耐薬品性

薬品名	評価
10 %食塩水	○
エタノール	○
5 %中性洗剤水溶液	○
水道水	○
海水	○
5 %苛性ソーダー	△
エンジンオイル	×
10 %硫酸	×
10 %塩酸	×
ガソリン	×

○：良                      △：可                      ×：否

§ 注意事項

- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を良く洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗って下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ シール材を希釈する場合は、専用シンナー（ダイアボンド27TH）を使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。